

商
三十五年誌

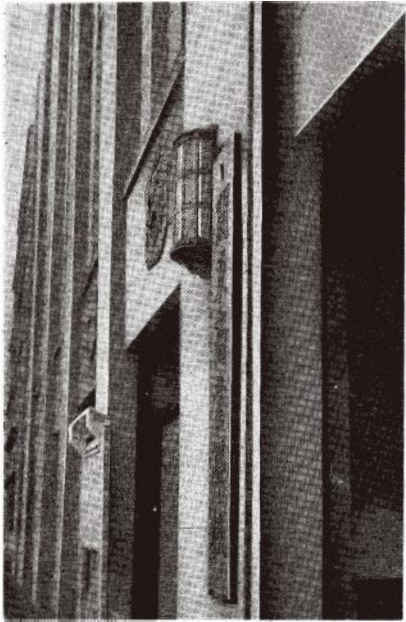
関東第一高等学校図書館



0 1 5 0 7 1



正門から見た現校舎の一部



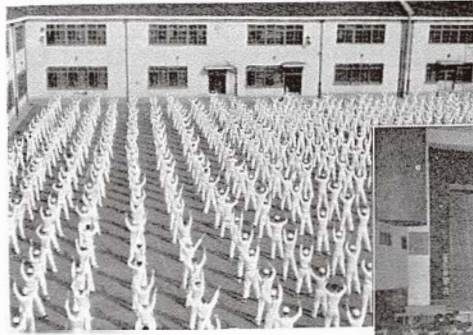
千代田区神田時代の旧校舎の一部



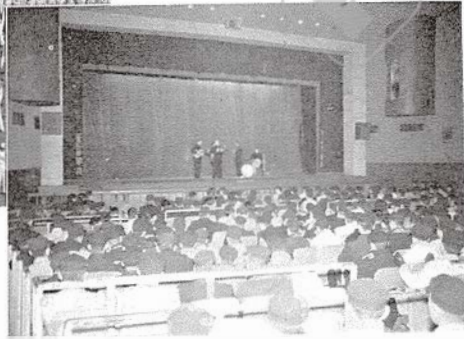
通学風景



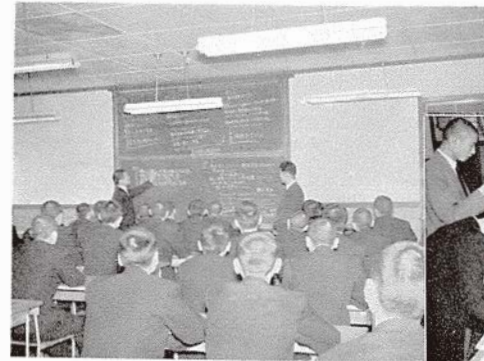
校内での挨拶
(生徒の週番)



全校生徒
の合同体操



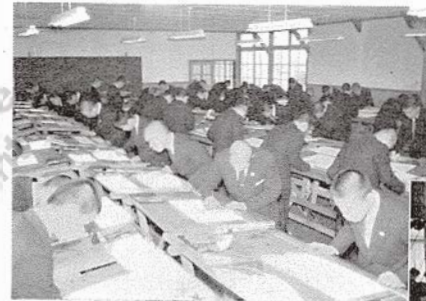
余剰会(江東劇場にて)



商業・工業(電気)
施設・設備



商業科商品研究



工業科製図の実習



工業科機械実習室

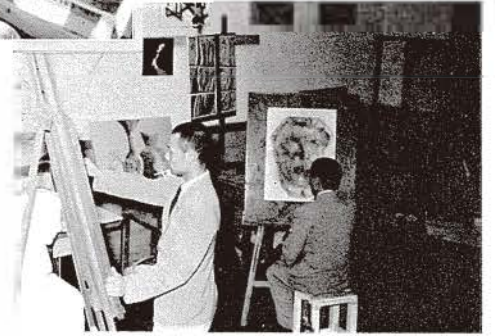


工業科機械仕上工作



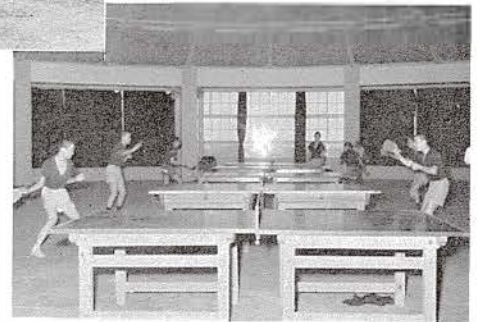
工業科電気実習作業

社会科学部の
模型製作



美術部
デッサン

自動車部
の作業



卓球部
(昨年・今年2年
連続して都代表
となる)

巻頭言

神田の借校舎で産声をあげた本校が三十五年を経た今日、円形校舎四階の大講堂で記念式典を挙げられるということ、何としても喜びに堪えないことである。

言うまでもなく過去三十五年の間にはかすかすの変遷があり苦難も多かった。しかしそれらをつねに融和と協力によって切り開き今日に至ったのであるが、学校関係者、教職員、生徒の心の脈を絶えず流れつづけてきたものは「實行」という創立の精神であった。「實行」とは正しいと信じたことはあくまでもやり遂げる精神であるが、この精神が三十五年という今日の歴史を育て、歴史がまた「實行」の精神を培ってきたといえる。

さて、実際に役立つ人間の養成をモットーに五千人を超える卒業生を社会へ送り出してきた本校も、人間で言えば青年期に達した、知識や経験を豊富に積んで働らき暮りの年令であり、今後社会への役割りもまた重大と言わねばならない。折も折、第一期工事の円形校舎が完成し生徒数は千五百名を超えるまでになった。

しかし、勿論われわれはこの現状に決して甘んじているわけではない。祝うべきこの創立三十五周年を機会に、われわれは改めてその置かれている立場を正しく認識するとともに、私立校としての特色を十分生かし、歴史と伝統精神の上に立って更によりよい内容の充実を目指して明日への努力を続けて行く決心でいる。

最近五ヶ年の行事抄

昭和三十年

同	四月十一日	始業式挙行	同	九月九日	教育研究会開催
同	四月十二日	第一学年入学式(商業一三二名)	同	九月十九日	第三回関西杯争奪珠算大競技会開催
同	四月十五日	産業教育企画委員会開催	同	九月三十日	機械科実習工場鉄骨五十三坪上棟式挙行
同	四月十六日	生徒就職対策協議会並びに産業教育各科連合会議開催	同	十月十八日	体育祭挙行
同	五月二十日	身体検査(三日間)実施	同	十一月二十八日	中間調査施行(三日間)
同	五月十三日	第一学期中間調査(三日間)施行	同	十一月五日	父兄会開催
同	五月十四日	父兄会開催	同	十一月十二日	講堂移築並びに機械科実習室落成式
同	五月十八日	全校生徒国際見本市見学	同	十一月十七日	防火並びに避難訓練実施(三日間)
同	六月九日	虫歯予防講演会開催	同	十二月十日	第二学期定期調査施行(四日間)
同	六月十五日	創立三十周年行事協賛会委員会開催	同	十二月二十日	第二学期終了式挙行
同	七月五日	第一学期定期調査施行(三日間)	同	昭和三十一年	
同	七月十一日	修学旅行、中学裏盤橋、高一山中湖、高二奥多摩、高三関西、九州方面	同	一月十日	第三学期始業式
同	八月二十日	第一学期修業式挙行	同	一月二十六日	父兄会開催
同	九月五日	第二学期始業式	同	二月三日	卒業予餞学芸祭挙行
同	九月七日	講堂移築委員会開催	同	二月十日	第三学年学年末調査施行(三日間)
			同	二月二十九日	防火並びに避難訓練
			同	三月一日	卒業式挙行
			同	三月二日	一、二学年学年末調査(五日)
			同	三月七日	入学試験実施(二日間)
			同	三月十四日	教育研究委員会開催

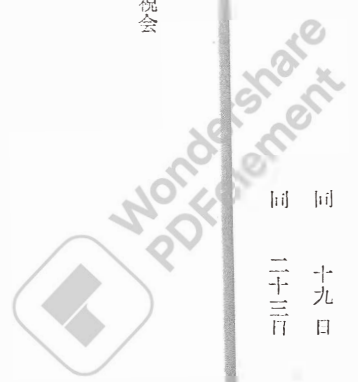
同	四月二十日	中学卒業式並びに修業式挙行	同	九月十五日	就職進学模擬試験
同	四月十日	始業式挙行	同	九月二十日	高三火力発電所、高二証券取引所見学
同	四月十一日	第一学年入学式(商業一八二名)	同	九月二十七日	第四回関西杯球算競技大会開催
同	四月十三日	身体検査(五日間)	同	十月一日	随風第十五号来襲のため臨時休校
同	五月十一日	高第三学年父兄会開催	同	十月四日	開都五百年祭につき午後の授業打ち切り
同	五月二十八日	教育映画観賞会及び工業展見学	同	十一月四日	X線間接撮影
同	五月二十八日	高第三学年修学旅行(関西、四国方面八日間)	同	十一月十二日	第二十七回体育祭挙行
同	五月三十日	第一、二学年修学旅行(三日間)	同	十一月二十五日	教育映画観賞「マナスルに立つ」
同	五月二十二日	進学、就職模擬試験	同	十一月二十八日	父兄会及び成人教育NHK熊谷幸博氏
同	六月二十七日	職業講話会開催(亀戸労政事務所長)	同	十二月二日	中間調査施行(二日間)
同	六月二十八日	腸バチフス予防注射(二日間)	同	十二月八日	防火並びに避難訓練
同	七月三日	就職講話(亀戸安定所係員)	同	十二月三十日	全校マラソン競走
同	七月七日	第三学年クレーリン検査	同	十二月二十日	第二学期調査施行(二日間)
同	七月七日	第一学期調査(四日間)	同	昭和三十二年	終了式
同	八月十一日	就職講話(橋本三井銀行人事課長代理)	同	一月十日	第三期始業式
同	八月十二日	教育映画観賞会	同	一月十八日	鉄骨四十四坪の機械科鑄造実習室落成式
同	八月二十日	第一学期終了式	同	二月十一日	挙行
同	八月二十一日	夏季講習会(十日間)	同	二月二十日	父兄会
同	九月五日	第二学期始業式挙行	同	二月二十日	卒業生予餞会
同	九月十日	随風警報により午後の授業打ち切り			

三月一日	三十一回卒業式	同	二十一日	懇親体育会
三月十三日	入学考査	同	二十五日	第五回関商杯珠算大会
同 十四日	全	同	十月一日	就職模擬試験
同 二十日	終業式	同	十月二日	東京都記念祭につき休業
四月十一日	入学式(商業一四七名)	同	十月十三日	体育祭企画委員会
五月十六日	中間考査(三日間)	同	二十三日	第二十八回体育祭
五月二十三日	高三修学旅行(関西、四国、九州方面八日間)	同	二十三日	建築委員会
同 二十七日	高二修学旅行(盤梯、赤倉方面、三日間)	同	二十八日	生徒会役員改選
六月十三日	鑄造実習室火入式	同	三十日	父兄会並びに成人教育会(講師村岡花子氏)
同 十五日	P T A 総会、円形鉄筋校舎建築事業協賛会	同	十一月二日	映画観賞会(翼よ、あれがパリ灯)
同 二十七日	建築委員会	同	二十日	校外教授(一年羽田空港、横浜港等、二年平林寺、三年都内見学)
七月二日	高一父兄会	同	二十九日	防火避難訓練
同 八日	第一学期考査(四日間)	同	三十日	マラソン大会
七月十三日	就職模擬試験	同	十二月二日	東京都私学課査察
七月十九日	高二父兄会	同	十一日	第二学期考査(四日間)
同 二十日	第二学期終了式	同	二十日	第二学期終了式
同 二十二日	夏季講習会(十日間)	同	昭和三十三年	
九月五日	第二学期始業式	同	一月十日	第三学期始業式
同 十八日	三団体(帝國書院、吉祥女高校、本校)			

同 二十二日	建築委員会	同 八日	教育研究会
二月三日	同	同 十日	防火避難訓練
同 六日	父兄会並びに成人教育(講師渡辺伸一郎氏)	同 十一日	中間考査(三日間)
同 八日	設立若守屋荒美雄先生二十周年記念祭	同 十七日	レントゲン撮影
同 十八日	入学試験(二日間)	同 十九日	父兄会並びに成人教育(講師齋藤栄三郎氏)
三月一日	卒業式	同 二十七日	校外教授 一年名古屋精糖、宝酒造、二年朝日ビル吾婦工場、川崎制鉄、三年証券取引所
同 三日	建築委員会	同 五月五日	就職講話 三井銀行人事課長代理 橋本達男氏
同 六日	学年末考査(三日間)	同 五日	教育研究会
同 九日	円形鉄筋校舎起工式	同 六日	交通安全講話 小林小松川署員
四月十一日	入学式(商業一二六名) (機械三四一名)	同 十日	文化祭総合企画委員会
同 十六日	身体検査	同 十一日	高三 修学旅行 北海道方面十日間
同 二十三日	建築委員会	同 十二日	高一、二年 裏盤梯方面三日間
同 二十六日	P T A 総会	同 十四日	第一学期終了式
同 二十八日	教育研究会	同 十八日	夏季講習会(十日間)
五月一日	就職講話(講師亀戸職業安定所紹介課長)	同 九月一日	第二学期始業式 増田教諭赴任
同 二日	就職適性検査	同 十八日	台風二十一号のため臨時休校
同 六日	ツベルクリン反応注射		
同 七日	就職面接テスト		
同 七日	商業科教育研究会		

同	二十二日	就職模範試験	同	十一日	第二学期考査(四日間)
九	二十六日	レントゲン撮影	同	十二月二十日	第二学期終了式
同	二十七日	台風二十二号のため臨時休校	昭和三十四年		
同	二十九日	父兄会並びに成人教育(講師阿部真之助氏)	一月十日	第三学期始業式	
同	三十日	円形鉄筋校舎落成につき引渡式	二月四日	父兄会並びに成人教育(講師気象庁予報部長 理博 肥沼寛一先生)	
同	十月一日	大東京祭につき休校	二月八日	設立者守屋荒美雄先生記念祭	
同	六日	新校舎へ移転	同	卒業予餞会	
同	八日	円形校舎落成文化祭推進委員会	同	卒業式	
同	二十四日	建築委員会	三月一日	入学試験	
同	二十四日	中間考査(四日間)	同	十七日	入学試験
同	二十八日	文化祭委員会	同	二十日	修業式
同	十一月四日	私学祭高一四クラス派遣	同	四月十五日	入学式(商業二〇名電気一四三名) 機械三八一名
同	十四日	岡田忠彦元校長葬儀	同	四月十六日	就職指導会議 訓育会議
同	十五日	文化祭、父兄同窓生の集い	同	四月二十一日	身体検査(二日間)
同	十六日	英語劇、白衛隊吹奏楽、落語	同	二十五日	P T A 総会
同	十七日	校内学芸祭	五月九日	就職講話及び三年父兄会(講師亀岡職業安定所 次長)	
同	二十二日	第六回岡商杯珠算大会	同	十九日	国際見本市見学(四日間に分かれて)
同	二十八日	マラソン大会	同	二十三日	父兄会
同	十二月二日	防火避難訓練			

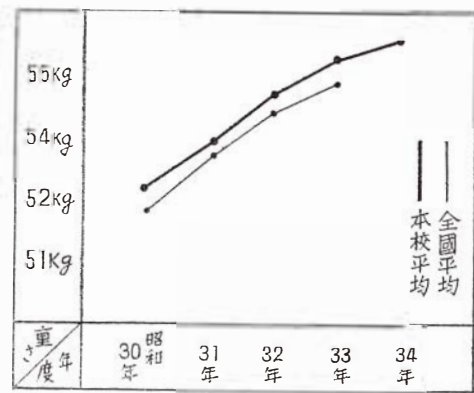
同	二十七日	私学祭 皇太子成婚祝賀奉祝会
		一年四クラス派遣
同	六月五日	ハラチフス予防注射
同	八日	P T A 総会
同	十一日	一年修学旅行(裏磐梯方面)
同	十五日	二年 " (赤倉方面)
同	六月十六日	二年修学旅行(北海道方面十一日間)
同	二十日	修学旅行反省会
同	七月十日	第一学期考査(四日間)
同	十八日	第一学期終了式



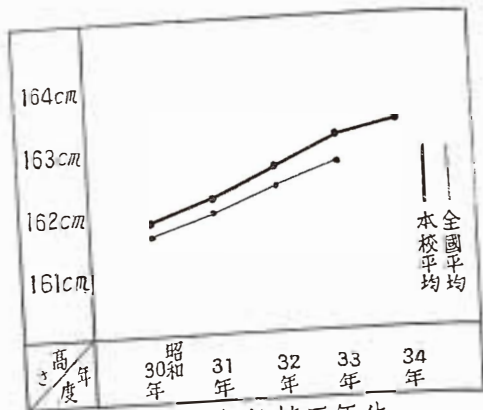
本校の健康管理状況

ここ二三年來我國における児童、生徒の発育状態は目醒ましいものがあり、本校においてもそれは顕著である。第一、二図は、全国の高等学校二年生平均発育状況であるが、本校はこの平均をやや上廻る傾向にある。

年一回行われる身体検査ではこれらの単なる測定のみでなく、異常者の発見に努め、疾病による長期欠席等の障害をさける為に、綿密な校医の診断を受けさせて居り、又、青年期の大きな問題の一つでもある結核に対しても、現在は、次第に発病率及び死亡率共に減少して来てはいるが、見捨てることの出来ない難関である。本校においては、特にこの点に留意し、結核の早期発見と治療に重点を置く為に、春秋二回にわたり、ツベルクリン反応及びX線検査を行っている。これは、他校では見受けられないことであるが、一回目の検査後に罹患した者を、悪化させないよう生ちに見い出す為、大体六ヶ月間置いて再検査するのである。異常と疑われる者には、保健所において直接撮影による精密検査を受けさせ、徹底的に生徒を結核から守り、健全な学業を得られる様、努力している。



体重 高二年生
 又、校外研究に際しては、不慮の伝染病罹患をさけることも加味して、事前に、鴨チフスの予防注射を全員に行い、一石二鳥の効果を得ているが、今迄、本校においては旅先での事故（伝染病）は殆ど皆無と言っても良い状態である。
 学校環境の安全管理面からは



身長 高二年生

- (一)、校地は、周囲の低地帯にかかわらず、整地が充分で排水、地面の勾配共に調査されて居り良好である。
- (二)、近代建築技術を生かした円形校舎は、衛生面に特に留意され、換気、採光、照明、清潔等、各室に適応した条件にて考慮され、特に、豊富な水を利用しての水洗便所は、本校の特徴の一つである。
- (三)、工場地帯から離れた住宅地にあるので、周囲の騒音にわずらわされることなく、勉学にいそしめる。
- (四)、工業科実習室は、完全に整備され有力な教師の監督の許に実習が出来る、これもまた本校の特徴の一つである。障碍保険に加入して居り、実

習中の事故による場合、完全に保障されていることは、生徒にとっても、力強いことである。

これら環境面、健康管理面共に好条件にあり、又、保健委員会の協力も大なるを以って、増々保健管理が充実され、心身共に健全な社会人を世に送り出す為の努力がされて居り、次の新築校舎には、明るい保健室も完備される予定である。このため、青年期の精神的にも肉体的にも危険な山一角にある生徒を、健康な道への道標としての役割が果せられる様努力されている。

種別	1年			2年			3年		
	(+)	(-)	(±)	(+)	(-)	(±)	(+)	(-)	(±)
ツベルクリン反応	664	15	37	392	1	10	368	1	5
B C G	7 1 6			9			5		
X線	7 1 6			4 0 3			3 7 4		
	7 1 5			3 7 5			3 0 1		
肺炎予防接種	7 1 6			4 0 3			3 7 4		

昭和34年度受診状況

昭和三十四年度の就職状況

本校も三十五周年を迎え、校内外とも益々充実を見せて来た。事実、就職に関しても常に本校の一貫した教育方針と年間通じての運動が効を奏して、毎年異常な程の好成績をあげている。

毎年の様に三年の担任は全責任を自から持ち、真剣に善が子の幸を希い粉骨砕心奮闘している。今年度の就職指導については (1) 求人開拓の適切なる方策 (2) 職安との緊密なる連絡方法 (具体的には指導官を招待し、父兄生徒の就職の啓蒙) (3) 就職の受験指導 (模擬試験等) (4) 採用試験一斉開始による作戦的人選 (5) 関係書類作成の能率化等又、就職準備指導については (1) 本人面接 (2) 適性検査 (3) 父兄面接 (4) 家庭状況調査等合理的に運営して来た。

昨年度に於ける労働省、文部省規定の九月十五日をさらに一ヶ月早めて八月十五日に全国一斉に採用試験が行われた。そのため三年の修学旅行も毎年七月中に行われていたが、旅行終了後の就職準備もあり矢張りそれに準じて一ヶ月早めて、六月中旬に北海道旅行を実施した。七月に入ると直ぐ一流会社の求人書類が次々とやって来た。矢張り今年も例年の如く出始めは商業関係の求人が圧倒的に多い。銀行金融会社、貿易会社、デパート、保険会社等である。機械関係では、石川島程度で後は中小の数社に過ぎなかった。商業科と機械科では例年大体に於て、約一ヶ月間位の遅速(ズレ)がある。求人経路は安定所経由と学校直接(内には卒業先輩からの引張りも多数あり)とがある。これも現在までの七、八、九、十の約四ヶ月間の調査によれば、安定所からの求人数は約五二〇社で、学校直接の求人数は約五〇社である。

安定所の方は当然公募が多く、学校直接は公募が少ない。故に公募となれば、当然競争も激しく勢い人物成績共に優れている者に限られる。九月末現在既に求職生徒(学校依頼者)の商業科八七名、機械科二〇九名、計二九六名に對し機械科は一〇二名で約五〇パーセント、商業科は三四名で約四〇パーセントの就職が決まった。好調の弱電気、重工業機械関係、紡績会社の大量求人等、その上に初任給平均も昨年度より約五〇〇円程上っている。会社によっては、残業等ふくめて一万三千円にもなる所もあった。職種に於ては、商業科は営業、事務等が殆んどであり、中小企業等の店員(デパートは除く)は僅少である。機械科に於ては、現場工員、設計製図、管理工務、技術係補助の順である。又、求人先の会社の規模環境、職種及び将来たずさわる予定の職種等は一人一々担任が訪問し、調査しつつ適不適と調査表を照合し、説得しながら決めていった。今後約五〇パーセントの未就職者を如何にまとめていくか、これはあくまでも担当者の機敏さと愛情が求人求職のまとめる力となる。

昨年は九月に始めて十二月に完全就職した。数に於ては殆んど同じであり、今年はスタートも一ヶ月早く故に十一月中には完全就職すべく無理なく全力を上げたいと思っている。

前、教育計画の研究に於て (1) 地域の特性 (2) 卒業生進路調査 (3) 学習指導計画の検討等、高校の職業指導に完璧を期したいと思う。

○ 部屋かず

	1年	2年	3年	計
1 部屋	20	20	9	49
2 部屋	100	67	32	199
3 部屋	182	94	125	401
4 部屋	171	102	73	346
5 部屋	118	65	63	246
5 部屋以上	90	55	34	179

○ 勉強部屋

	1年	2年	3年	計
ある	344	205	142	691
ない	337	198	194	729

○ 電話

	1年	2年	3年	計
ある	193	126	85	404
ない	488	277	251	1,016

○ テレビ

	1年	2年	3年	計
ある	370	250	174	794
ない	311	153	162	626

家族の状況について

○ 兄弟姉妹

	1年	2年	3年	計
1 人	38	30	52	120
2 人	150	64	61	275
3 人	195	105	62	362
4 人	111	98	74	283
5 人	107	48	47	201
6 人	50	32	27	109
7 人	17	18	11	46
7人以上	13	8	2	23

○ 両親

	1年	2年	3年	計
父母健在	609	353	303	1,265
父だけ	11	9	5	25
母だけ	56	37	24	117
共になし	5	4	4	13

家庭状況について

○ 住所

江戸川区	298	千葉県市原地区	46	千代田区	9
葛飾区	193	市原地区	20	新宿区	3
江東区	239	足立区	54	中央区	38
墨田区	165	荒川区	18	目黒区	2
市川市(谷津安行徳)	50	北区	16	品川区	14
松戸市	29	台東区	74	大田区	8
船橋市	43	文京区	23	その他	67
習志野市	8	豊島区	3		

○ 職業

	別	1年	2年	3年	計
会社員		270	154	168	592
国家公務員		28	19	16	63
地方公務員		28	12	11	51
商業		131	76	47	254
農		27	14	19	60
漁業		12	3	9	24
教員		2	0	1	3
自由労務者		12	2	5	19
会社経営		53	40	20	113
自由業		38	9	12	59
サービス業		31	20	8	59
団体		1	0	1	2
その他		48	54	19	121

○ 住居

種類	1年	2年	3年	計
自宅	493	304	265	1,062
借家	93	38	34	165
社宅	36	26	21	83
公営アパート	15	6	4	25
社営アパート	9	7	2	18
私営アパート	9	5	2	16
公営住宅	13	10	5	28
間借	6	6	1	13
その他	7	1	2	10



引伸して腕を磨く写真部



勢揃いした陸上部員

各部の活動状況

図書部

学園生活を送るにあたってはならないものは、生徒の勉学を助け、又人格を高め教養を身につけたりする働き、すなわち図書活動である。

しかし、現在の関東商工の図書部はそういう本来の目的から全く離れて、生徒の多くは図書室の場所も知らず、又図書を利用している人は、全校生徒数から見ても余りにも少なすぎる。

このような結果が生れた原因は図書部員の、図書活動に対する熱情が余りないと言うことも考えられるが、しかし、それにも増して第一に挙げられることは、関東商工の生徒の大部分が本を読むことに又勉学することに全々関心のないことである。遊ぶことにかけては一人前であるが、勉学のことになると、少々疑問である。貸出しをしても、案内はゆきとどいているのにくる人達は十指にも満たないほど、いつもくる顔ぶれは決っている。

図書部の職員として、全くこのことを痛感する次第で残念なことである。現在の様な状態だと、図書部は必要がないと思

「豚に真珠である。」
今年から電気科が新設されたので、そういう専門書もどしどし購入した。では今年購入した新書の一部を参考までに御紹介しよう。

- アイデアの旅
- アイデア時代
- 人間の条件(六卷)
- 世界統計年鑑
- 概説商法
- 注解株式会社法
- 商法教材会社法
- 西洋史物語(七卷)
- ラジオ電気の使い方
- ラジオ技術教科書(二卷)
- 電気用一般数学
- 電気磁気学
- 微積分学精説
- 送電教育
- 電気をひらいた人々
- やさしい電気シリーズ(五巻)